

Week of February 12 - Religiously Mistaken - Small Group Lesson Lesson 4

知り合う

自分が信じていることが、実際に真実であるかをどうしたら確信できるのでしょうか？

聖句 – ガラテヤ人への手紙 4（聖書協会共同訳）

ガラテヤ人への手紙 4:1~12

1 つまり、こういうことです。相続人が未成年であるうちは、全財産の所有者であっても奴隷と何ら違いはなく、2 父親の定めた時期まで後見人や管理人の下にいます。3 同様に、私たちも未成年であったときには、この世のもろもろの霊力に奴隷として仕えていました。4 しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から生まれた者、律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。5 それは、律法の下にある者を贖い出し、私たちに子としての身分を授けるためでした。6 あなたがたが子であるゆえに、神は「アッバ、父よ」と呼び求める御子の霊を、私たちの心に送ってくださったのです。7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神による相続人でもあるのです。8 しかし、神を知らなかった当時、あなたがたは、本来神ではない神々の奴隷となっていました。9 だが、今や神を知ったのに、いや、神に知られたのに、どうして、再び奴隷になることを望んで、あの無力で貧弱なもろもろの霊力に逆戻りするのですか。10 あなたがたは、日や月や季節や年などを守っています。11 あなたがたのために労苦してきたことが無駄になったのではないかと、あなたがたのことが心配です。12 きょうだいたち、お願いです。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私を傷つけるようなことを何一つしませんでした。

ガラテヤ人への手紙 4:28~31

28 きょうだいたち、あなたがたはイサクと同じように約束の子どもです。29 しかし、当時、肉によって生まれた者が霊によって生まれた者を迫害したように、今も状況は同じです。30 しかし、聖書は何と言っているでしょう。「女奴隷とその子を追い出せ。女奴隷の子は、断じて自由な身の女の子と一緒に相続をしてはならない」とあります。31 それゆえ、きょうだいたち、私たちは女奴隷の子どもではなく、自由な身の女の子どもなのです。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. 1-7節で、パウロは子供の行動が外部の規則によって訓練されること（3節）と、私たちの行動が今、御霊の内在によって変えられること（6節）とを比較しています。

この二つの方法はどのように異なり、どのような結果が期待できるのでしょうか。

2. パウロは、宗教的な慣習に従うこと（10節）は、神に受け入れられるための手段として、偶像崇拝に戻ること（8,9節）であると考えています。このように、信仰のみによって救われる真の神を否定しているのです。

ある人々が、キリストへの信仰のみに頼ることをやめ、後戻りするように誘惑される理由は何でしょうか？(ピリピ3:3、ガラテヤ2:12-13、エペソ2:9)。

3. 御霊によらず、肉によって「クリスチャン」になろうとする人は、どうなるのでしょうか？(30-31節、ヨハネ3:3、マタイ7:23、テトス1:16)

🏃 **適応:** 聖霊によってではなく、律法を守ることによって霊的に成長しようとする人を、私たちはどのように助けることができるでしょうか？(ローマ14:1; 7:6; 8:3-4; ヘブル7:19; 1ペテロ5:10）相続財産とそれを得る方法について理解することは、どのように役に立つでしょうか？

☕ **ディスカッション:** あなたは生活の中で、御霊に導かれるのではなく、「律法の文字」に従う傾向があるのはどの部分ですか？ あなたの行動を導く上で、よりキリストに近い思慮深さを身につけるには、どのようなことが有効でしょうか？

分かち合い

クリスチャンである友人が、未信者との結婚を望んでいるとき、未信者のフィアンセは、結婚したいからクリスチャンになることに決めたと言った場合、あなたはどのように助言しますか？どのような聖句を参考にして、その人に助言しますか？あなた自身を導くために、どのような聖句を使いますか？

成長

賛美と具体的な祈りの課題を分かち合うことによって、互いに仕えましょう。

- 私たちが何をしているときも、自分自身ではなく神様をほめたたえることができるように祈りましょう。
- 私たちが、信仰の弱い人を受け入れ、愛し、励ますことができるようにお祈りください